

普及情報

分類名〔病害虫〕

情 7	<b>コナガ、アオムシに対するプロフラニリド水和剤 の防除効果</b>
-----	---

宮城県農業・園芸総合研究所

### 要約

プロフラニリド水和剤の茎葉散布はキャベツのコナガ、アオムシに対して高い防除効果を示す。

〔普及対象：キャベツ等生産者〕  
〔普及想定地域：県内全域〕

### 1 取り上げた理由

プロフラニリド水和剤は新規化合物（IRACコード：30）を有効成分とする殺虫剤である。キャベツのコナガ、アオムシに対して高い防除効果が認められたため普及情報とする。

### 2 普及情報

- (1) プロフラニリド水和剤はキャベツのコナガに対し、対照薬剤のエマメクチン安息香酸塩乳剤と比べ高い防除効果を示す（図1）。
- (2) プロフラニリド水和剤はキャベツのアオムシに対し、対照薬剤のエマメクチン安息香酸塩乳剤と同等の防除効果を示す（図2）。

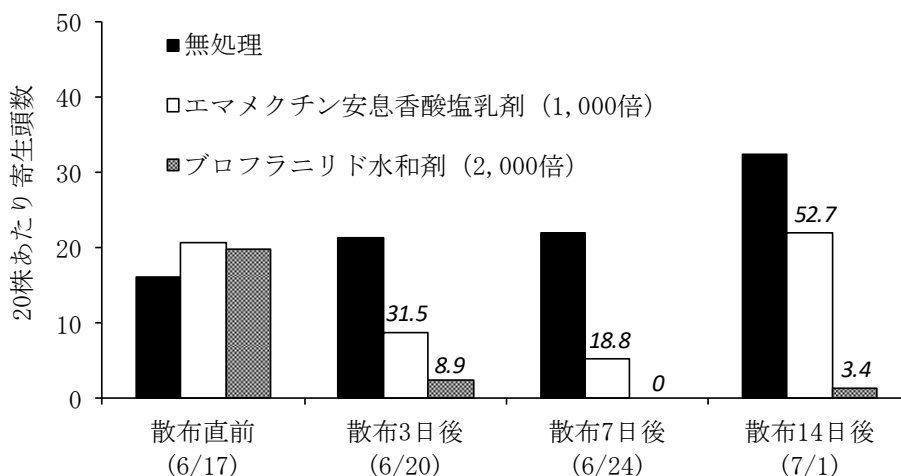


図1 キャベツのコナガに対するプロフラニリド水和剤の防除効果（平成25年）

注1）耕種概要 品種：初恋 平成25年5月22日定植 6月17日に薬剤を200L/10a散布

注2）3反復、各区20株に寄生するコナガの幼虫・蛹数を計数した

注3）対照薬剤はエマメクチン安息香酸塩乳剤（商品名：アファーム乳剤）

注4）斜体数値は各調査日における処理区の補正密度指数を示す。数値が小さいほど効果が高い。

補正密度指数 =  $(Ta \times Cb) / (Tb \times Ca) \times 100$  Ta: 処理区の散布後虫数 Ca: 無処理区の散布後虫数  
Tb: 処理区の散布前虫数 Cb: 無処理区の散布前虫数

### 3 利活用の留意点

- (1) プロフラニリド水和剤の商品名は「プロフレア SC」である。
- (2) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避ける。
- (3) 薬剤を使用する際は、最新の農薬登録情報を確認する（独立行政法人農林水産消費安全技術センタートップページ <http://www.famic.go.jp/>）。

（問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話 022-383-8133）

#### 4 背景となった主要な試験研究の概要

##### (1) 試験研究課題名及び研究期間

新農薬による病害虫防除に関する試験(平成25年度)

##### (2) 参考データ

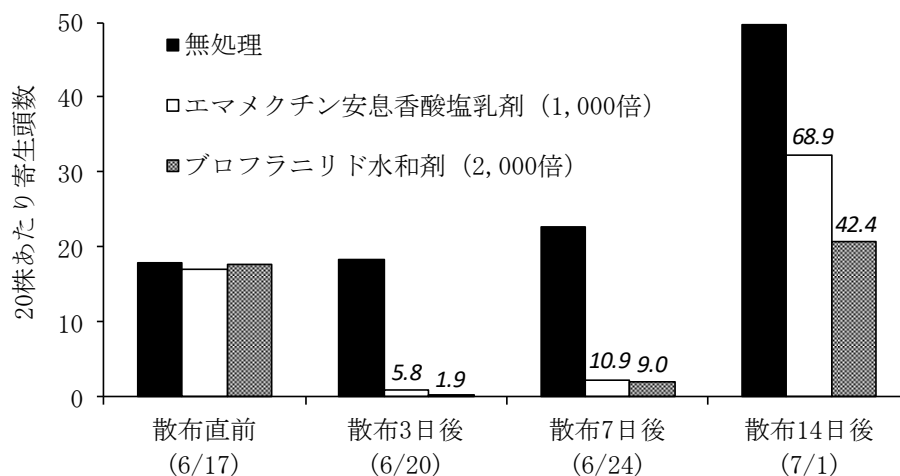


図2 キャベツのアオムシに対するプロフラニリド水和剤の防除効果(平成25年)

注1) 耕種概要 品種:初恋 平成25年5月22日定植 6月17日に薬剤を200L/10a散布

注2) 3反復,各区20株に寄生するコナガの幼虫・蛹数を計数した

注3) 対照薬剤はエマメクチン安息香酸塩乳剤(商品名:アフーム乳剤)

注4) 斜体数値は各調査日における処理区の補正密度指数を示す。数値が小さいほど効果が高い。

補正密度指数 =  $(T_a \times C_b) / (T_b \times C_a) \times 100$   $T_a$ : 処理区の散布後虫数  $C_a$ : 無処理区の散布後虫数

$T_b$ : 処理区の散布前虫数  $C_b$ : 無処理区の散布前虫数

表1 コナガ、アオムシに対するプロフラニリド水和剤の適用一覧(令和3年2月4日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	プロフラニリドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ	2,000~4,000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	散布	3回以内	3回以内
	アオムシ						
はくさい	コナガ						
	アオムシ						
だいこん	コナガ						
	アオムシ						
かぶ	コナガ						
ブロッコリー	コナガ						
	アオムシ						
カリフラワー	コナガ						
	アオムシ						
非結球あぶらな科 葉菜類	コナガ						
	アオムシ						

##### (3) 発表論文等

イ 関連する普及に移す技術 なし

ロ その他 なし

##### (4) 共同研究機関 なし